

経営比較分析表（令和2年度決算）

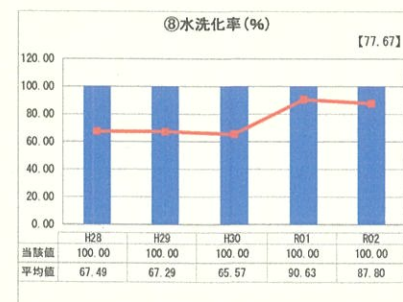
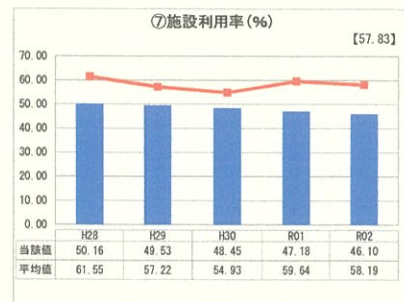
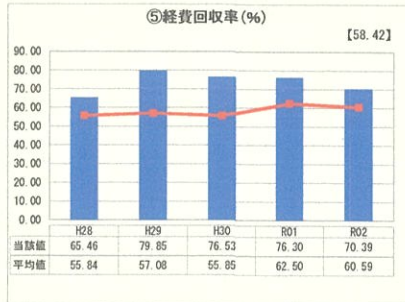
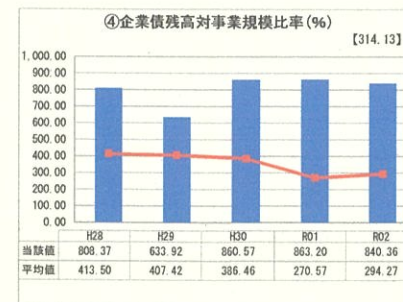
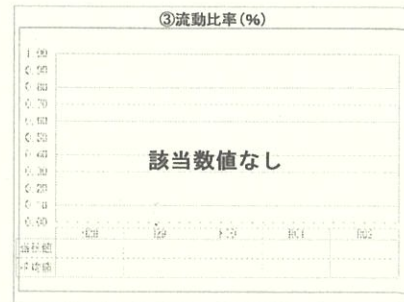
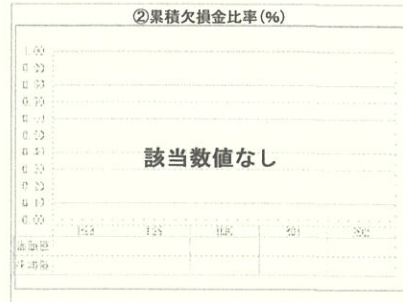
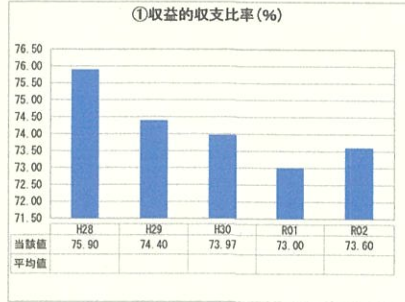
千葉県 長柄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ² 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	23.71	100.00	2,750

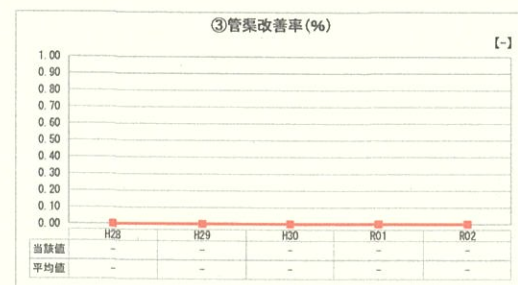
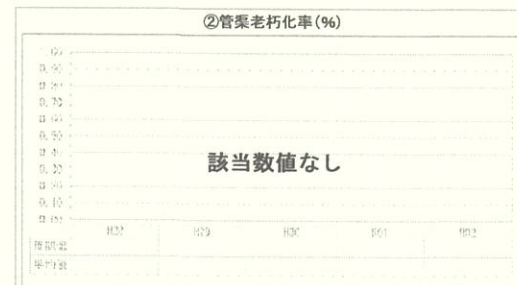
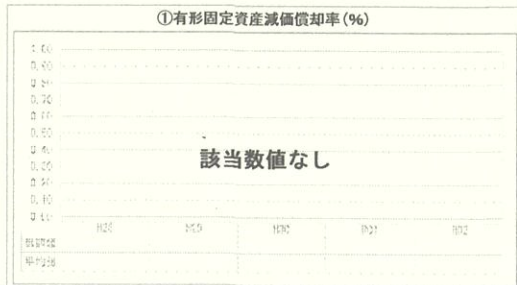
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,754	47.11	143.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,585	46.59	34.02

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は、数値が100%未満であり、不足分は一般会計繰入金で補填している状況である。更なる施設修繕費用の削減、施設修繕等に充てる財源の確保など経営改善を図っていく必要がある。

②経費回収率は、100%未満であり、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入で賄われているため適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要である。

③汚水処理原価は、横ばいとなっており、類似団体平均値以下となっている。明確な数値基準はないものの、経年比較や現状分析を実施し、汚水処理に係るコストの改善が必要である。

④施設利用率は、横ばいであるが若干減少した。

⑤水洗化率は、類似団体平均値以上の数値を維持しており、経年比較による増減はない。使用料収入の向上を図るため、将来の見込みを踏まえ、水洗化率向上に向け今後も分析していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

管渠について、維持管理は個人負担であり、町では把握していない。

浄化槽本体について、平成16年度の事業開始から現在16年目となるが耐用年数を超えるものはない。

また、経年劣化等による破損が見られるものについては、その都度修繕を実施しているが、老朽化に対して具体的な対応計画は作成していない。今後必要に応じて作成を検討する。

全体総括

全体的に人口減少は今後も見込まれるが、新規設置基数による使用人数の増と、使用水量の微増は見込まれる。また、経年劣化による修繕費の増加も見込まれる。

使用料金の改定等を実施し、経営改善を図っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。